

# 「2011 年度グローニンゲン大学短期訪問プログラム」募集要項

2011年5月13日

このプログラムは、オランダにおける本学の提携校グローニンゲン大学にて、21 日間にわたって、英語のプレゼンテーション・スピーキング・リスニング・ライティングなどのスキルを総合的に高めるとともに、フィールドトリップ・オランダ学の授業などによりオランダ文化についての理解も深めることを目的としたプログラムです。以下の募集要項をよく読んで、理解した上で応募してください。

## 1. 研修期間

2011年8月22日(月)～9月11日(水)

## 2. 研修場所

グローニンゲン大学（オランダ）

Broerstraat 5, Groningen, the Netherlands



## 3. 研修プログラム（昨年度実施内容による予定）

- 英語授業 (Oral skills, Academic writing, presentation)
- オランダ文化授業、日本-オランダ関係史、オランダ在住日本人による講演
- グローニンゲン大生との交流プログラム (ESN プログラム等)
- オランダ国内見学バス旅行
- オランダ人家庭の訪問、パーティ、伝統球技体験

プログラムには必修のものもありますが、選択できるプログラムもあります。

## 4. 研修費用

約430,000円（昨年度実績による積算。参加者数、レート等によって変わります。）

\* 航空代金（KLMオランダ航空利用予定）、現地宿泊費用（朝食付き）、研修費用、海外旅行傷害保険代などが含まれます。自宅・関西空港間の交通費、超過手荷物料金、現地での昼食・夕食費、現地での交通費などは各自支払になります。

## 5. 応募資格

文学部・経済学部・法学部・人間科学部・外国語学部在籍の正規生。

## 6. 募集人数

20名（原則各学部4名を定員とする。但し、全体の応募者が20名に満たない場合はこの限りではありません）。応募者多数の場合は各学部で選考になります。

## 7. 応募書類

- 1) 参加申込書（所定用紙。KOANで各自ダウンロードし、Excel等で作成すること）
- 2) 英語能力を証明する書類（TOEFL, TOEIC, 英検など）  
コピー可（なければ提出しなくてもよい）

## 8. 応募書類受付

2011年5月16日（月）～5月23日(月) 午後5時  
提出先：各学部教務係

## 9. 参加者決定

2011年5月下旬ごろ通知します。決定は、メールか電話で伝えますので、連絡がつくようにしておいてください。

## 10. 助成金について

本プログラムは、本学の「学生海外研修プログラム等助成」に申請されます。この申請が承認された場合、参加者には助成金\*が付与されることとなります。

※ 但し、助成金給付の可否や一人当たり金額は応募件数により左右されますので、あらかじめ注意してください。昨年度は一人あたり42,000円支給。

## 11. 備考

- ・オランダ現地では大阪大学の日本人スタッフが参加者のサポートをします。
- ・大学の指定する海外旅行傷害保険に加入していただきます。
- ・保護者の承諾書をとっていただく必要があります。
- ・参加決定後の事前オリエンテーション（3回を予定）には必ず参加していただきます。
- ・参加のキャンセルは、原則として認めません。申込みの際には慎重に検討してください。
- ・関西空港集合・解散とし、途中参加や終了後の他国への旅行・滞在は認められません。
- ・研修終了後に日英各A4で1枚程度の報告書を提出していただきます。

## 終わりに：グローニンゲン短期訪問プログラムへの誘い

### どうして英語を学ぶために行くのがオランダのグローニンゲン大学なの？

これはおそらく、この夏期研修を知った多くの学生諸君が抱く疑問でしょう。しかし、それにはもちろんきちんとした理由があるのです。オランダ、そしてグローニンゲン大学のどのような点が研修先として適しているのか簡単にご紹介しましょう。

#### 1. 短期研修先としてのオランダの魅力

ヨーロッパの西部、ドイツとベルギーの間に位置し、北海に面するオランダはまず「ヨーロッパ」を体験させてくれるところです。オランダと聞いて皆さんがイメージするのは風車、チューリップ、木靴、自転車、運河・・・といったところでしょうか。しかし実際に行ってみれば、それよりもっとたくさんものを見つけられるはずです。何よりオランダは自由主義と人々の自主独立性を重んじ、それを誇りとする、活気に溢れた刺激的な国です。オランダの公用語はオランダ語とフリジア語※ですが、ほとんどのオランダ人が英語を話すことができます。つまり皆さんは、ヨーロッパの大陸の雰囲気(カフェ文化、豊かな食、数多くの歴史的建造物、博物館・美術館など)を味わいつつ、英語を使うという経験が出来るのです。また大航海時代の盟主であったオランダと当時の日本との間で結ばれ、今も続く特別な歴史的な関係については皆さんもご存じの通りでしょう。このような歴史をふまえて当地を訪れてみるのもまた興味深いものです。オランダは公共交通網が整っているため、研修プログラム中の自由行動日には、鉄道の国内パスを使って個々人の関心をもとにオランダ中をめぐり、多様な地域を見て回ることもできます。

※ フリジア語はフリースラント州を中心にゲルマン系の一部族フリース人によって話されている言語。系統的にはオランダ語より英語に近いとされています。

## 2. グローニンゲン大学の魅力

グローニンゲンはオランダ北部、アムステルダムから北 200km にある人口 17 万人のオランダ北部の中心都市です。旧市街は四方を運河で囲まれており、学生が多く、自転車が町中に溢れています。グローニンゲン大学はその都市の中核の役割を担っており、1614 年創立とオランダで 2 番目に古い歴史ある大学です。現在 10 学部を有し、学生総数は約 1 万 9000 人です。

グローニンゲン大学で研修を行う上での大きな利点は、2004 年同大学内に設置された大阪大学のヨーロッパにおける海外拠点「グローニンゲン教育研究センター」の存在があります。同大学に拠点が置かれた理由はたくさんありますが、特に大阪大学とグローニンゲン大学の関係が非常に古く、緊密であること※※、またグローニンゲン大学の国際的な教育環境が非常に高く評価されていることがあげられます。

このような環境によって、グローニンゲンセンターに駐在する大阪大学のスタッフがグローニンゲン大学のスタッフと連携し、大阪大学の学生のためだけにきめ細かな研修プログラムを組むことが可能となっています。今年度の研修内容は英語学習に重点を置いたものとなっていますが、語学力の向上だけでなくオランダ、さらにはヨーロッパの文化に関心をもつ学生の皆さんの参加を期待しています。本研修は、語学研修というだけでなく、現代のオランダを肌で感じ、学ぶものでもあるからです。

皆さんの積極的な参加をお待ちしています！

※※ 大阪大学とグローニンゲン大学の結びつきと歴史、またセンターのなりたちについては、HP をぜひご覧下さい。

大阪大学グローニンゲン研究教育センター <http://www.osaka-u-groningen.org/>

### 本プログラムについての問い合わせ先

文系海外研修委員会委員（外国語学部） 堀江 新二 教授  
外国語学部教務係（本件担当：山田）

TEL: 072-730-5052 / FAX: 072-730-5057

E-mail: [gaikokugo-kyomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:gaikokugo-kyomu@office.osaka-u.ac.jp)